

平成27年度能勢町一般会計予算可決!!

環境教育常任委員会報告

委員長 中植 昭彦

本委員会に付託されました、議案第27号「平成27年度能勢町一般会計予算」について、3月11日および12日に委員会を開催し、所管の環境創造部、教育委員会の予算内容を審議いたしました。主な質疑応答は次のとおりです。

問 浄るりシアターの定員について。

答 ホールの立見席については、後部に50人程度のスペースを設置しているが、通路の使用等消防法の範囲で増員は可能である。安全管理についても老朽化している部分から計画的に実施していく。

問 もえキャラを用いて能勢町のPRを行うとあるが、公認することによって町の責任も生じる。著作権および公費の投入ならびに公平性をどのように考えるのか。

答 キャラクターイメージの使用料については、公序良俗を踏まえ、より多くの町民が活用できるよう、無料にすることで著作権所有者と協定等を締結する。

問 火葬場建設について、入札が成立しなかった。今後、どのようにするのか。

答 平成27年度中の稼働をめざし、今回の入札の結果も踏まえて早急に進めていく。

問 住民の高齢化が進んでいるが、道路管理維持、原材料支給、除草作業について町が直接対応すべきではないか。

答 優先順位を考慮し、計画的に進めていく。

問 観光客増加に伴い、公衆トイレの整備が必要であるが、どう対応するのか。

答 公衆トイレの整備に関しては、地元の理解を得ながら努力していきたい。

問 獣害対策については、猟友会への補助、狩猟免許取得の推進、捕獲獣の処理、緩衝帯整備が必要と考えるがどうか。

答 関係機関と協議し、方策を考えていきたい。

問 地方創生に関連し、内需型産業・企業支援について、若手経営者に対する能勢町独自の起業ファンド等を創設する考えはないのか。

答 能勢町単独ではないが、地元金融機関とも連携し、実現していきたい。

問 新学校開校に関連し、通学安全対策・町道平野線改良工事について、今後の進め方は。

答 平成28年度開校にあわせ、子どもの安全を最優先に対応していきたい。また、補正予算が必要になれば、対応する。

問 スクールバス購入事業について、台数、運営内容は。また、通学の安全確保は。

答 29人乗り5台、45人乗り3台の購入を予算計上している。また、バス運行については、委託形式を検討している。路線バスの活用については協議中であるが、無理な状況になれば、車両の追加購入も考慮に入れて進めてゆく。通学方法及び安全確保については、引き続き保護者とも協議し、方針を決めていく。

この後、質疑を終結し、討論はなく採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定いたしました。